

民生委員・児童委員の手引

(令和7年度版・東京都福祉局発行、4～5ページ抜粋)

3 政治的目的への地位利用の禁止

「民生委員は、その職務上の地位を政党又は政治的目的のために利用してはならない」と民生委員法第16条第1項に規定されています。「職務上の地位」とは、民生委員が、民生委員という立場で調査を行い、支援を要する住民の相談に応じ、援助等を行う場合に認められている職務遂行上の地位をいいます。民生委員は、住民の生活に立ち入り、相談に応じ、支援などを行う立場にあるため、その職務上の地位が政治的に利用された場合の弊害は大きいことから、これを利用してはならないと規定されているのです。

しかし、これは、民生委員が、民生委員としての職務を離れ、一個人として政党に加入し、又は政治的活動を行うことまでを禁止しているものではありません。

ただし、実際上の問題としては、個々の民生委員のそれぞれの担当区域内での政治活動については、職務上の地位を利用したか否かの判定が非常に困難であるため、当該地域内における政治的活動は、できる限り避けるべきでしょう。

なお、率直な都民感情からすれば「民生委員は政治的中立」という考えが浸透しているようで、民生委員が特定の人の後援会や推薦者として名を連ねたような場合であっても、苦情の電話が寄せられています。このようなとき、住民との信頼関係が活動の大前提となっている民生委員として、以降の活動に何らかの支障を招くことが懸念されます。

民生委員が職務上の地位を、政治的目的のために利用した場合には、解嘱のための所定の手続きがとられ、本人の意思にかかわらず解嘱されることとなります(民生委員法第16条第2項)。

選挙の際における、個々の具体的な行為が、この規定に該当するか否かの問題は非常に微妙であり、公職選挙法の規定との関連もあって判断が難しいので、最終的には各選挙管理委員会や、東京都あるいは厚生労働省の指導を受けて行動するのがよいでしょう。

昭和53年度9月期理事会提出議案
(昭和53年9月8日開催)

全国民生委員児童委員協議会

会 長 高 橋 重 聡 殿

東京都民生委員連合会

会 長 清水 恵隆

社会福祉政治結社について回答 (案)

本会の事業については、常に格別の御協力に預かり深謝申し上げます。

すでにお聞き及びかと存じますが、東京都の民生委員はかねて政治活動に関与しないとの申合わせを行い、これを守ることによって地域住民の信頼を得てまいりました。

本月開催の理事会において、この件につき改めて協議いたしました結果、従来の方針を再確認すると共に、8月8日付お申越しの標記結社には、本会として参加しないことに決定いたしましたので、御了承下さいますようお願い申し上げます。